



竜北中図書館通信



令和3年1月&2月(文責:本田)

☆北を教えてくれる“北極星”

夜空に輝く星は、時間がたつと少しずつ動きます。また、季節によっても、見える場所が変わります。これは、星が動いているのではなく、地球が回っているためです。

でも、時間がたって、動かない星があります。それが、真北の空に輝く『北極星』です。夜空の星はどれも、北極星のまわりを回るように動いています。昔の人は、まわりに目印になるようなものがない海や砂漠を旅するとき、北極星を見つけて方角を知る目印にしていました。

『きせつのお話366(学研)長谷川康男・監修』より



☆熊本県教育会館様より寄贈

2学期に、熊本県教育会館より寄贈(3万円)を頂きました。読み物の他、道徳や情報教育の本を中心に購入しました。裏面に詳細を載せています。ぜひ読んでみてください。

☆今年の干支『牛』が入った四字熟語『^{かんぎゅうじゅうとう}汗牛充棟』

～部屋にモノが多すぎると「牛」も一苦労!?!～

蔵書量が非常に多いことを四字熟語では『^{かんぎゅうじゅうとう}汗牛充棟』と表現します。これは唐の時代の名作家、^{りゅうそうげん}柳宗元の文章にある表現で、所有している書物が家の中の天井の棟木に届くくらい高く積み上げられ、それを車に積んで牛に引かせると、牛が大汗をかくほどに書物がたくさんあるという意味だそうです。

『故事・ことわざ・四字熟語 教養が試される100話 阿辻哲次・著(青春文庫)』より

☆図書委員長あいさつ

今年度、図書委員長を務めました3年2組の高野優奈です。

今年は、コロナウィルスの影響で例年通りの活動ができず、他学年との交流も減ったため、委員会をまとめることがとても大変でした。しかし、しおりコンクールやPOP作りの時に、みんなが協力してくれてとても嬉しかったです。一年間ありがとうございました。

これからも、たくさんの方に読んでほしいです。



☆ 熊本県教育会館 寄贈図書 ☆

出版社	書名	著者
朝日新聞出版	はじめてのお菓子レッスンBOOK	阪下 千恵
晶文社	11歳からの正しく怖がるインターネット	小木曾 健
岩崎書店	危険から身を守る NHK スマホ・リアルストーリー	NHK制作版
金の星社	図書館版大人になっても困らないネットのルールとマナー	遠藤 美季
国土社	ヘレン・ケラーのかぎりない夢	ドリーン・ラバポート
BL出版	ライオンになるには	エド・ヴィアー
少年写真新聞社	さよならのじゅんぴ	中山 成子
ディスカバー21	あなたはあなたが使っている言葉でできている	G・J・ビショップ
日本図書センター	よのなかのルールブック	高濱 正伸
ディスカバー21	心の中がぐちゃぐちゃで捨てられないあなたへ	B・パーマー
学研	なぞなぞ&ことばあそび決定版	阿部 恵
汐文社	とつきとおか 赤ちゃんが生まれるまで	M・ポール
朝日新聞出版	星の子	今村 夏子
風濤社	絵本 地獄	白仁 成昭
風濤社	絵本 極楽	西川 隆範
教育画劇	きょだいなガチャガチャ	大橋 慶子
理論社	境い目なしの世界	角野 栄子



『大人になってもこまらない ネットのルールとマナー』

遠藤 美季・監修 (金の星社)

インターネットは、魔法の杖のようになんでもできる便利なものです。しかし、その魔法の杖は、使い方と使う人の心がまえ次第で、災いをもたらす悪魔の杖にもなります。そのようなことがないように、インターネットのことを家族みんなで考え、想像力を働かせて、使うことの大切さを知ってほしいと思います。



『メシが食える大人になる よのなかルールブック』

高濱 正伸・監修 (日本図書センター)

「本当に幸せになるためには、メシが食える大人にならなくてはいけない」これは、25年間塾を開いてきた高濱氏の言葉です。この厳しい時代を生き抜くために、大人になる前に知っておいてほしい、50の大切なルールが載っています。